



—— 写真がご趣味の患者さん、ぜひ1階地域連携室までご連絡ください。



～群馬県済生会前橋病院の理念と基本方針～

理念
愛と希望

基本方針

- 一、私たちは、患者さんに公正な医療を提供します。
- 一、私たちは、患者さんの人格・意志を尊重します。
- 一、私たちは、医療の質の向上をめざし、常に努力します。
- 一、私たちは、地域社会の要望に対応した医療・福祉の充実をはかります。
- 一、私たちは、互いに信頼し、感謝する心で、仕事に取り組みます。

なにしこらむ

まんりょう(万両)は、赤い実が鮮やかで、名前も万両とおめでたいことから千両とならんでお正月の縁起物となっています。花言葉は陰徳。他にも百両、十両などがあり、額が下がるほど実の数が少なくなります。



年頭のご挨拶

院長
樋口 次男

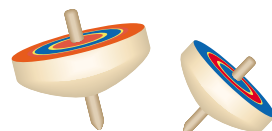
昨年4月に行われた診療報酬改定影響度が日本病院会のアンケート調査より出され、「置換試算」の平均はマイナス0.5%と改定幅をほぼ反映する結果となりました。また、一般病院では当院のような中規模クラスの病院でマイナスが目立ち、500床以上のみプラスとなったとのことですが、あくまでもこれは結果であり自分達に与えられた条件(規模)の下で努力して行くことが重要と考えます。

2006年閣議決定された社会保障費の5年間継続削減が行われる中で医療費抑制策も継続される可能性が大きく(2008年12月1日現在)病院の運営は何処も厳しい条件下にあります。その中で当院にとって明るい話題もあります。

まず、新臨床研修医制度に関してですが、一昨年当院も単独型管理型臨床研修病院の資格が取得出来ました。昨年10月に平成21年度の初期研修医最終マッチングの結果が発表され1名のマッチングが決定しました。病院説明会等にあたりご苦労頂いた関係者の皆さんに感謝すると共に応募された医師が有意義な研修を行えるよう皆さんの協力をお願いします。

もう一つはTQM (Total Quality Management) 委員会の快挙です。昨年10月、フォーラム医療の改善活動の全国大会(医療機関のQC全国大会)で発表した手術室のサークルが『優秀賞』を受賞しました。スタートして僅か3年足らずで当院のQC活動が全国レベルまで達したということで、サークルのメンバーの努力は勿論のこと委員長を始め指導に当たられた皆さんのパワーには驚くばかりです。この活動が病院運営に必ずや貢献して頂けるものと確信しております。

中国春秋時代に書かれた『管子』の中に、「一年之計 莫如樹穀(一年の計は穀を樹うるに如くはなし)」、「十年之計 莫如樹木」、「百年之計 莫如樹人」と言う言葉があります。一年で収穫を得たかったら穀物を植えよ、十年なら木、百年なら人と言う事ですが、これは又「人を植え育てれば百年の収穫が得られる」と云う意味にも用いられ、人材の育成が如何に大切かを述べたものです。当院には能力が有りながらその力が未だ十分に発揮されていない多くの人材が埋もれているようです。その実力を発揮する為の環境づくりにはこれからも意を注いでいきたいと考えておりますので、一人一人がもう一つ上を目指して活躍されることを期待し新しい年のご挨拶とします。



病院の中での薬剤師の役割



クスリがリスクにならないように患者さんと薬を見守っています。

薬局長
礒野 淳一

11月4日から、当院も院外処方箋発行に踏み切りました。「院内で薬をもらえた方が便利だね」とも言われますが、近年は院外処方が一般的なためか、ほとんどの患者さんが発行初日からあまりにもスムーズに院外薬局に向かわれる姿を見て、一抹の寂しさも感じています。

薬局窓口では、もうここで薬を貰えなくなり私達と接する機会が減ってしまうことを残念がってくださいると同時に「・・・で、皆さん方（病院薬剤師）はどうなるの？」と私達の身の振り方まで心配してくださる患者さんもいらっしゃいました。おそらく一般の方々には、薬局内で慌しく薬を取り揃えている姿の印象が強く、外来調剤こそが病院薬剤師の仕事と見ていたのでしょうか。

では院外処方になった今、私達、病院薬剤師は何処に行くのでしょうか？

実は病院薬剤師には、入院患者さんの許に一人一人に合った薬が安全に届くように、そしてきちんと効果が発揮されるように、入院患者さんの薬を見守る大切な役割があるのです。外来調剤が忙しすぎると、この病院薬剤師としての役割が疎かになってしまうのです。

どのように見守っているのか、業務の一部である調剤の流れで見てみましょう。

医師から処方箋が届くと、まず最初に処方内容を丁寧に確認します。

患者さんの年齢・体重・副作用歴・薬歴・病歴や薬同士の飲み合わせ、同じような薬の重複等がないかといった薬の情報を薬学的観点から確認します。病院では、患者さんの体内に直接入ってすぐに効果を発揮する注射薬を使うことが多いのですが、その注射薬も飲み薬同様、患者さんの状態と投与量・投与方法・注射速度・期間、混合しても濁ったり効果が落ちたりしないかといった薬学的チェックを行います。事前に薬学的チェックを

行うことで、多くのリスクを防ぐことができています。安全で適正な使用であることが確認できて初めて薬として取り揃えられるのです。

病棟や外来化学療法室で治療に使う点滴も、安全キャビネットの中で無菌的に調整しています。



また、ベッドサイドでは薬の正しいのみ方や効果・注意点・副作用などの話をし、薬のことを理解・納得していただくことで患者さん自らが適切な薬物治療に参加できるようなお手伝いもしています。



もしも入院され、点滴や薬を見たときには、一つ一つの薬に薬剤師が目を光らせていて、自分自身にフィットするように作られているオーダーメイドなんだと感じて頂けると幸いです。そして、自分の薬をよく知り、理解・納得してから使用することは、治療に積極的に参加することにつながり、病気を治すのにとても大切なことです。薬のあるところには私達がいるので、いつでも気軽に声をおかけください。

外来化学療法室

“常に患者さんの立場になって” 治療をいたします

外来化学療法室 看護師

荒川 春美

当院の外来化学療法室は、患者さんに、より快適・安全に、安心して治療を受けていただけるよう平成16年5月に開設しました。専用ベット8床とリクライニングチェア2床が整備され、抗がん剤や抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤（シメケード）による治療を行っています。

これまでの抗がん剤による治療は入院して実施することが常識でしたが、安全で有効性の高い抗がん剤の開発、短時間で実施可能な治療法の開発、副作用対策の進歩により外来での実施が可能になってきました。

外来化学療法は患者さんに以下のようなメリットを生み出します。

1. 生活の質（QOL）の向上：ご家族との生活や仕事等の社会生活の中で、今までと同じ役割を果たしながら治療を続けていくことができます。
2. 医療負担額の軽減：入院時に発生する入院基本料が不要となるため、経済的な負担が軽減します。

化学療法室では、同じ疾患をもつ患者さん同士で「病気」・「仕事」・「家庭」での悩みをお互いに話されており、情報交換の場となっているようです。「私も同じ症状だわ」「そうなんだ」という共感が、悩みを誰にも話すことができなかった患者さんの心の支えになっていると思います。

私たちスタッフは、化学療法をご理解していただくため、初めて化学療法を受けられる患者さんにご家族には個別に説明させていただいています。治療に対する精神的な不安などを和らげ、患者さんにご家族が安心して通院治療を受けていただけるよう支援しています。また抗がん剤の点滴も薬剤師により「安全キャビネット」の中で無菌的に調剤しております。このように、各職種が協力しチームで治療を支えています。



化学療法室メンバー



「認定看護師」をご存知ですか？



緩和ケア認定看護師
神宮 彩子

昨年度病院からの支援を受け、認定看護師教育課程に通学し、認定審査を受け6月に「緩和ケア認定看護師」の資格を修得することができました。現在は緩和ケア認定看護師として、院内『かんわケアチーム』の一員となりケアのお手伝いをさせていただき、またスタッフへの研修会を企画、運営しています。

がんと診断される方の数は年々増加しており、治療の方法も様々です。完全に治る方、治らなくても治療を継続することで長期的に「がん」とお付き合いされる方も多くなりました。病名告知を受けることは大きなショックでしょうし、このショックの中で治療方法を選択し、決断をしていくことは大変なことだと思います。また治療を選択



し進めていく段階でも副作用などの身体的な苦痛、治療や今後のことに対する不安など精神的にも苦痛が生じることがあると思います。緩和ケアは終末期に生じる痛みをとる治療だけではなく、このようにがんと告知を受けた時から生じる様々な苦痛を軽減していくケアのことなのです。

告知を受けて・・・療養中・・・不安だったり、迷ったり、何ともいい難い苦悩などどんなことでも結構です。遠慮なくお聞かせ下さい。患者さんご自身とご家族の方々とがどのような生活を望まれ、そのためにはどのような治療が良いのかなどみなさんが主役となりより良い療養生活が送れるように、みなさんの身近にいるスタッフと共に考えさせていただきたいと思っています。

認定看護管理者

看護部長
源内 和子



この度『認定看護管理者』に認定されました。今回の合格者を含め、全国で519人、県内では6人が認定されています。この資格は日本看護協会が認定するもので、『認定看護管理者は、多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することにより、保健医療福祉に貢献する。』となっています。

看護部を預かる立場として、患者さんにより質の高い看護を提供すること、看護部内の融和・人材育成、また他の職種とのより円滑なコミュニケーションの実現をしていく必要があると昨年4月の就任以来考えてまいりました。

当院に来院されるすべての患者さんにご満足いただける看護を目指し、今後も管理、指導に当たると同時に、『率先垂範』の看護部長でありたいと思います。

患者さん、ご利用者からの当院の看護についてのご意見を広くお待ちしております。ご遠慮なくお申し出ください。

X線循環器診断システムの更新

「医療の質の向上と安全」を心掛け、日々スキルアップ

放射線科

石坂 和真

平成20年10月より血管造影撮影装置が更新となりました。その理由は、従来のシステムが10年を経過したことにより、装置本体および検査、治療に係わる周辺機器のメンテナンス等に不具合が生じてきたことが第一です。そして、専門医療で新しいX線システムに望まれる「画質の向上」を掲げ機器の選定をいたしました。当院の血管造影撮影室使用の現状は、多くが成人・小児の心臓カテーテル検査および治療であるため更新機種は心臓専用でリアルタイムDSA（骨などが写らず血管だけが描出される）が可能なFPD（高い感度でX線を高画質に画像化する検出器）搭載型が望まれました。

その条件を満たした装置が東芝メディカルシステム製 Infinix Celeve-i 8000Vです。



東芝メディカルシステム製 Infinix Celeve-i 8000V

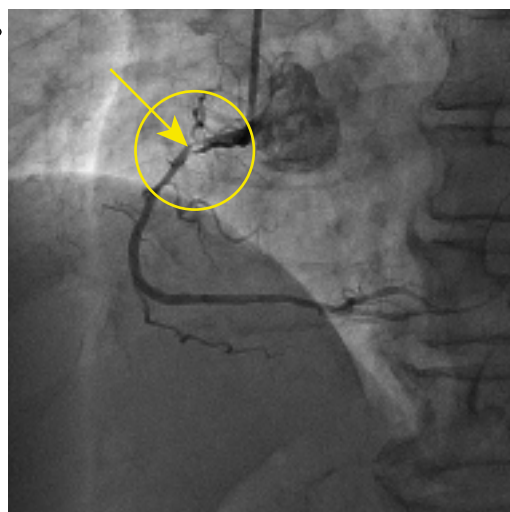
システムの特徴は以下のものなどです。

- ①5軸回転機構により、治療に必要なアームアングルを瞬時にとれ、また、頭～足まで広範囲を写し出せます。
- ②高画質な透視・撮影画像を得ることができ、血管や治療医材を鮮明に描出できます。
（一般テレビのアナログ放送とデジタル放送の画質の差があります。）

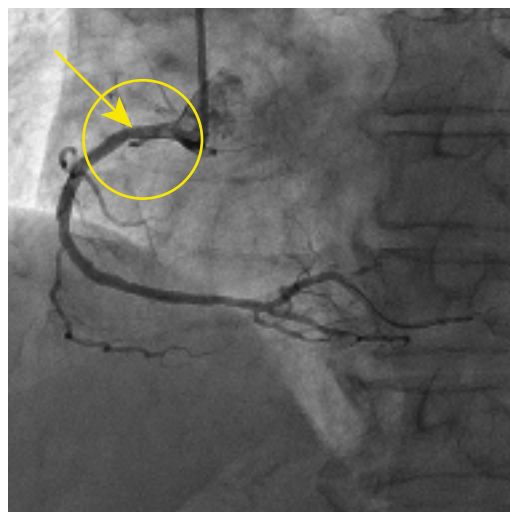
③撮影した画像は別モニターで、動画・静止画ですぐ観察できます。

X線装置の更新と共に動画サーバーを増設いたしました。これにより撮影した画像やデータをリアルタイムで院内ネットワークより観察可能となりました。

最新鋭のシステム導入により、機器の技術に負けないスタッフの技量が試される時と感じております。当院基本方針の「医療の質の向上と安全」を心掛け、日々スキルアップできるよう考えております。



◀右冠動脈狭窄



◀右冠動脈治療後

『医療の改善活動』で優秀賞

フォーラム『医療の改善活動』
全国大会で優秀賞を
いただきました。

10月31日、11月1日の両日、福岡県飯塚市において、第10回記念フォーラム『医療の改善活動』全国大会 in 飯塚が開催されました。

この大会は、医療機関が参加して行うQC活動の全国大会で、今回第10回の記念大会でもあり、最多の72サークルがエントリーして行われました。当院からは2サークルが発表し、うち手術・中央材料室のサークルが『優秀賞』をいただきました。

QCサークル活動は、数名の小集団（サークル）で行う業務改善活動で、トヨタ自動車に代表される製造会社では古くから行われている活動ですが、近年では、一般の企業や、サービス業、医療機関でも多く取り組み始めています。医療の世界では、製造業などに比べると歴史は浅いですが、改善活動に先進的な病院では以前から行われてきました。

当院では、患者さんとのコミュニケーションの向上、明るく活気に満ちた職場づくりを目的に、2006年にQCサークル活動を開始し、（本誌23号でも報告）今年で3年が経過しました。その間、QCサークル群馬地区をはじめ、他の先進的な医療機関のQC担当者にご指導いただき、院外の発表大会にも積極的に参加してまいりました。

先日行なわれた表記大会において、当院から手術・中央材料室、及び事務室の2サークルが発表し、両サークル共、講評で高い評価をいただきました。そのうち、手術・中央材料室の『OPE室必殺仕事人サークル』が『優秀賞』を受賞しました。

他の受賞サークルは、QC活動はもとより全国的にも名だたる病院ばかりで、当院でもこの大会での優秀賞受賞を一つの目標にしてきましたので、受賞の知らせを聞いた時は感無量でした。



このたび、栄えあるこの賞を受賞できたのは、サークルメンバーの努力はもちろんですが、指導にあたったQCディレクター、スタッフ、また活動を支えてくれた所属長や仲間など職員相互の理解と協力があつたからこそであり、QC活動が院内の協力体制を一層強固にする効果ももたらしました。

今後も当院ではますますQC活動のレベルアップを図り、医療の質を向上させ、患者さんや地域に貢献できるよう努力していこうと決意を新たにいたしました。



◆地域の皆様をリレーでご紹介します。

今回は只木体育協会会長よりのご紹介で、前橋市防犯協会東分会の**森哲男**分会長さん宅を訪問。お話をうかがいました。

（編集部）防犯協会の分会長とはどのようなお仕事でしょうか。

（森分会長）前橋市からパトロールの計画を受け、東地区内に分担し、防犯担当の方に実施していただくなど、防犯活動の取りまとめをしています。

（編集部）日ごろ東地区で行っている防犯活動はどのようなものがありますか

（森分会長）月1回の防犯協会町内パトロール、週1回の町内児童の帰宅時のパトロール、新前橋駅前の自転車盗難防止パトロールなどを定期的に行っています。東公民館の文化祭での車の誘導や、初市祭り、七夕の防犯パトロールへの協力もしています。

私自身は市の補導員にもなっており、前橋市全

『笑い療法士』講演会

11月30日(土)

『笑い療法士講演会』を
開催いたしました。



笑い療法士とは、笑いをひきだすことによって患者さんの自己治癒力を高め、健康な人の発病予防をサポートする目的で癒しの環境研究会（1994年設立、代表世話人：高柳和江、事務局：日本医科大学管理学教室内）が笑い療法士評価認定委員会（委員長：中島英雄・中央群馬脳神経外科病院理事長・嘶家桂前治）を立ち上げ2005年より、認定を始めたものです。

当院では、腎臓内科部長及び検診センター部長を兼務している河合医師が見事難関を突破し、笑い療法士3級の認定を受けました。（本誌第27号で報告）河合医師は、その風貌と相まってつねに患者さんや職員を和ませる存在です。

講演は、予想を大幅に超える160人の方にご来場いただき、会場内は身動きが取れないほどの大盛況となりました。「みんなで笑って元気になろう」をテーマに、笑い療法士とは、というそもそもの話から、『同じ生きるなら、しかめっ面で生きるより楽しく笑って生きた方がいいじゃないですか』（笑い療法士の言葉）、笑い療法士のモットー『一日5回笑って一日5回感動する』（癒しの環境研究会）など、会場の皆さんに笑って元気になろうと投げかけをしました。

何気なく生きている今日という一日は、昨日亡くなった人が痛切に生きていたいと願った一日である（中島英雄先生）という話は、今日を大事に生きなくてはいけないのだとしんみりと感じました。

笑い療法士になりませんか、認定のすすめをしたりしながら講演は約1時間で終了しましたが、感激し、涙ながらに礼を言われる方もいて、元気が出てお帰りになった方が大勢いらっしやっただけです。来場者から頂いたアンケートには、『一日5回笑って一日5回感動する』を実践してみたい、『笑う事ができ、楽しく生きる希望が持てました。』など、講演を聞いて笑ったので元気が出ましたというご意見をたくさんいただきました。

河合医師は、現在院内のかんわケアチームメンバーであり、痛みをもった患者さんの心のサポートにも熱心に取り組んでおり、今後このような講演を地域で積極的に開催したいと考えております。院外で講演を希望される方は、当院広報室（代表027-252-6011）へご連絡ください。

域のパトロールにも参加しています。

（編集部）最近世間では凶悪事件が頻発していますが、分会長さんはどのようにお考えになってますか？

（森分会長）地域の皆さんの防犯への協力もあり、幸いにも東地区では大きな事件は発生していません。これからも、地域全体で防犯活動に取り組んでいきたいと思えます。

（編集部）済生会前橋病院について会長さんはどんなふうにお感じになってますか？

（森分会長）職員の対応がいいですね。今回初めて済生会病院でさわやか検診を受けます。先日予約に伺った時も職員の方が親切丁寧に教えてくださり、本当に助かりました。町内にも看護師さんが住んでおり、地元の病院として親しみを感じています。

（編集部）病院にご要望などありますか。

（森分会長）やはり地元で唯一の大きな病院ですから、夜間等地域の方が具合悪くなった時など緊急時に対応をきちんとしていただければありがたいと思えます。

（編集部）そうですね、これからも地元の皆様の頼れる病院であり続けられるよう努力していきたいと思えます。今日は貴重なお話をありがとうございました。

外来医師診療表

* 午前的一般外来の受付時間は午前8時30分～午前10時30分です(診察開始は9時です)。
 * 午後の特特殊外来は完全予約制です。
 * 休診日は、日曜日、祝祭日、年末年始、第2・4土曜日です。
 * セカンドオピニオン外来のお問い合わせ・お申し込みは地域連携室 (027-252-1751) までご連絡ください。
 * 総合外来の担当医師は変更することがあります。

午前的一般外来

	内 科			循環器内科		外 科	小児科	整形外科	眼 科	泌尿器科
	総合外来(初診) 9:00~10:30 10:30~12:00			一 般	一 般					
月	畑 中	福 田	佐倉【血】・菅【腎】	池 田		西 田 尾 嶋	大 島【一般】 鈴木【尊】【循】	後 藤 長谷川	榎 石原(美)	鈴 木 【群大教授】
火	宮 脇	交替制	樋口【消】・河合【腎】 神田【消】	福 田 広 井		細 内 鈴木(茂)	大 島【一般】	中 島 澁 澤	岸【群大教授】 石原(美)	
水	中里見	中里見 池 田	樋口【消】・宮脇【血】 吉永【消】	福 田 宮 崎		西 田 平 山	大 島【一般】 鈴木【尊】【循】	中 島 田 鹿	石原(美)	
木	河 合 佐 倉	初 見	家崎【消】・菅【腎】 高田【血】・石塚【呼】	福 田 池 田		細 内 持 田	大 島【一般】	長谷川・澁澤 白倉【群大教授】 リハビリ【第1,3】	石原(美)	
金	吉 永	家 崎	宮脇【血】・矢田【消】	池田【第1,2,3】 福田【第4,5】	福 田 【第1, 2, 3】	西 田 尾 嶋	大 島【一般】 鈴木【尊】【循】	後 藤 田 鹿	石原(美)	
土	交替制	交替制	星野【血】・交替制 内分泌【第1, 3】荻原 呼吸器【第1, 3, 5】岡山	福 田 池 田		交替制	第1:下山【循】 第3:鈴木【尊】【循】 第5:大島【一般】	第1:中島・長谷川 第3:後藤・田鹿 第5:後藤・長谷川	群 大	

午後の特特殊外来

	内 科・循環器内科・心臓血管外科	小 児 科
月	心臓血管外科外来 内分泌外来	石 原(茂)・石山 荻 原 喘息・アレルギー・慢性疾患 循環器
火	血液外来	宮 脇・佐 倉・高 田 初 見・星 野 喘息・アレルギー・慢性疾患
水	心臓血管外科外来 ペースメーカー外来 内分泌外来 呼吸器外来	石 原(茂)・石 山 池田【第1,3,5】・宮崎【第2,4】 青 木 牧 元 循環器
木	肝臓外来 内分泌外来	高木【第1,2,4】・矢田・神田 荻 原 乳児健診(第1, 3) 予防接種
金	腎臓外来 呼吸器外来	河 合・菅 岡 山【第2, 4】 喘息・アレルギー・慢性疾患 循環器

お問い合わせ

- 代表番号** ☎027-252-6011
- 患者さんへ**
 - さわやか検診のお問い合わせ
医事課窓口 ☎027-252-6011内線1101
 - 人間ドックのご予約
検診センター ☎027-252-1959(直通)
- 医療機関様**
 - 初診(診察・検査・入院等)のご紹介
地域連携室 ☎027-252-1751(直通)
 - CT・MRIのご予約
放射線科 ☎027-252-6011内線1502
- 介護関連**
 - 前橋市高齢者福祉サービスのご相談
前橋市在宅介護支援センターあずま荘
 - 介護保険サービスに関するご相談
居宅介護支援事業所あずま荘
☎027-255-1511
- 病棟直通**
 - 循環器内科・心臓血管外科病棟
(循環器疾患専用) ☎027-252-1759

交通のご案内

■新前橋駅よりタクシーで10分
 ■前橋駅よりバスで20分
 ■高崎駅よりバスで40分

上信バス時刻表案内
 (済生会前橋病院発着予定時刻表)

行先	中央	前橋駅行	高崎駅行
7	×06	46	×05 37
8	26		07 46
9	03	43	26
10	23		06 46
11	43	03	26
12	33		16
13		23	06
14		13	46 56
15	53	03	36
16		33	16
17	54	13	36
18	33		16 56
19		13 48	33
20	×29		×11 56

×印は日祝日は運休